



## いわてグルージャ盛岡

### ゴミで繋ぐ未来へのパス、グルージャごみゼロPJ 1/2

2021シーズン、いわてグルージャ盛岡は「スタジアムから出るごみを少しでも減らしたい」という思いから「いわてグルージャ盛岡ごみゼロプロジェクト」をスタートさせました。丸紅株式会社様協力の元、ホームゲーム開催時のスタジアムグルメの店舗で循環型食器『edish』を使用し、そのごみを堆肥化。その堆肥を弊クラブで行っている米づくりに活用。そして出来た米を県内の子ども食堂に寄付し、子どもの健康な発育と居場所作りを行う事で、地域課題の解決につなげました。地域スポーツを応援する事をきっかけとしたゴミ問題解決と社会連携を目指しました。



活動場所 いわぎんスタジアム



協働者

企業、住民、行政

協働者名

丸紅株式会社、  
 農業生産法人有限会社うしちゃんファーム、矢巾町、  
 株式会社ベルジョイス、雫石町、サポーター、  
 特定非営利活動法人 まちサポ雫石



協働者の声

丸紅株式会社/築瀬 啓太 氏



試合会場で使用いただき、出店者や観客の方々も非常に協力的で、使用後のedishの回収にもご協力頂きました。また堆肥化の部分が課題でしたが、岩手で畜産をされているうしちゃんファーム様にもご協力頂き循環の輪を形成することができました。地元で愛されるグルージャだからこそできた取り組みだと感じております。



活動詳細情報

- 1 [公式Twitter](#)
- 2 [公式Facebook](#)
- 3 [公式Instagram](#)



カテゴリ(SDGs)/取り組みテーマ





いわてグルージャ盛岡

ゴミで繋ぐ未来へのパス、グルージャごみゼロPJ 2/2

## Story

地域の飲食店が出店し、ホーム戦を盛り上げる『スタジアムグルメ』では、飲食店の宣伝効果や飲食店とサポーターとの繋がりを深める取り組みを行ってきました。しかし、スタジアムグルメが盛り上がるほど、スタジアムから出るゴミの量は増え(1試合あたり軽トラック約4台分)地球環境悪化への一つの原因となり得ると考えました。そこで、私たちは循環型食器を活用し、仕組みを取り入れる事で、ゴミをゴミにしない『いわてグルージャ盛岡ごみゼロプロジェクト』をスタジアムグルメにてスタートさせました。1社目の協力者「丸紅株式会社」では、循環型食器edishを開発・周知・活用。そして、2社目の



協力者「農業生産法人有限会社うしちゃんファーム」により、edishを堆肥化する事で、堆肥をチームで行っているグルージャ米プロジェクトに活用。出来たお米は、県内の子ども食堂に寄付し、子供達の居場所づくりの支援とゴミ問題における地域課題の解決につなげる事としました。グルージャを応援し、スタジアムに来るサポーターが、循環型食器を使用したスタジアムグルメの購入をする事で、地域の飲食店と試合を盛り上げ、循環型食器の回収協力をサポーターが行うことで、サポーターが3者目の協力者となり、ゴミ問題解決の仕組みを作りました。多くの協力者がチームを応援する事で『ゴミ問題解決の取り組み』への関心を深め、ゴミをゴミとしない『完全循環型』の仕組み構築ができました。結果、シーズン終盤では、これまで大量に出ていたゴミが、サポーターやスタッフにより、綺麗に分別され、循環型食器edishが肥料となることで、スタジアムの1試合あたりのゴミの量が、これまでの3分の1となり、ゴミ問題解決の第一歩となりました。私たちは、この取り組みをきっかけとし、岩手のプロスポーツクラブとして今後も地域企業やサポーターと連携



する事で地域課題解決に向けて様々な取り組みを行っていききたいと思います。